

第36期（第1回）神戸市社会教育委員会議事録（要旨）

1. 日 時：令和2年12月1日（火）16：00～17：30
2. 場 所：神戸市教育委員会事務局 教育委員会室
3. 出席者：
 - (1) 社会教育委員10名
 - (2) 事務局 工藤総務部長、東教育企画担当課長、安田課長（文化財課）、
鎌田担当課長（中央図書館）、山本学芸課長（博物館）、井関課長（文化交流課）
4. 開 会：教育企画担当課長
5. 挨拶：総務部長 第36期社会教育委員就任に対する謝意と、今後の社会教育行政への協力のお願い。
6. 議事

（1）第36期神戸市社会教育委員会議事 議長・副議長の選出について

（事務局）神戸市社会教育委員会議規則第2条に、会議に社会教育委員の互選による、議長及び副議長各1名を置くことある。第36期神戸市社会教育委員会議の議長、副議長について、委員の方から推薦はあるか。

（齋藤委員）議長に松岡委員、副議長に目黒委員を推薦する。

（事務局）他に推薦、意見はあるか。

（委員）異議なし。

（事務局）それでは第36期神戸市社会教育委員会議の議長を松岡委員、副議長を目黒委員にお願いする。これより報告事項等に入るが、神戸市社会教育委員会議規則第4条の規定により、進行を松岡議長に委ねる。

7. 報告事項：

（1）第35期第5回会議議事録【要旨】の確認について

（事務局）資料4～7ページにより、前回の会議議事録（要旨）について説明

（議長）質問、意見はあるか。

（委員）訂正箇所3カ所指摘

（2）各事業報告**① 埋蔵文化財センター事業報告**

（事務局）資料8ページにより、埋蔵文化財センター事業報告について説明。

（議長）今年度より文化財課は教育委員会から市長部局へ移管されたが、他部署との連携について、移管後影響はあるか。

（事務局）移管前に比べると、連携についてより意識的に行うようになっている。今後10年間の地域計画を現在作成しているが、その中でも教育委員会やその他の部局との連携について、項目を設けて記載している。

② 博物館事業報告

（事務局）資料11ページにより、博物館事業報告について説明。

（三浦委員）博物館の事前予約制について、もし予約せずに来館した方がいた場合、

入館を断っているのか。告知が難しいと思うのだが。

(事務局) 断りはしない。時間単位で何人という事前予約なので、その中で空きがあれば入館いただく。告知も難しいが、予約のための端末操作も手間を取られるので利用者からは面倒だという意見も聞いている。来館者が減ってしまうのは致し方ないが安全第一で考えている。

(人羅委員) 予約の方法について、HP からのみ可能なのか。電話予約は受け付けているのか。

(事務局) 基本は HP からの予約をお願いしているが電話で予約してくる方もいるので、それについては適宜対応している。

(議長) 今後 1 箇所で大勢の人間が集まる機会は減ってくる。その中で大事にしていくべきは「量より質」であると考え。来館者数の減少は覚悟の上、例えば事前予約での来館者枠を 8 割、予約なしの来館者枠を 2 割設けるといった、IT リテラシーの低い方にも門戸を開ける工夫が必要。

社会教育施設へ「量より質」に重点を置いた運営を行うよう、社会教育委員会議で提案させていただく。

(目黒委員) 来館者数のみで単純に施設の事業実績の評価をしないということも提案に付け加えたい。

(議長) 来館者の満足度調査以外にも、様々な来館者への配慮も評価基準にするよう提案する。

③ 図書館事業報告

(事務局) 別紙資料により、図書館事業報告について説明。

(三浦委員) 新垂水図書館について工事期間中は既存の図書館は使用できるのか。

(事務局) 約 1 カ月の引越しの期間以外は使用できる。

(井上委員) 名谷図書館について、学習できるスペースは館内レイアウトのどこの部分になるのか。

(事務局) 番号 1～4 の部分を想定している。限られた座席をなるべく多くの来館者が使用できるよう、座席管理システムを導入し使用時間の上限を設定する。上限の時間については、現在検討中である。

(目黒委員) 座席予約システムを導入している他の図書館はあるのか。

(事務局) 最近開館した大型の図書館の多くが導入している。座席の使い方はどの図書館でも課題の一つ。滞在型図書館と云われる一方で、ずっと滞在される方ばかりになると、たまに来館する方が座って読むことができなくなるため、システムの導入が増えてきている。それらのデータも見ながら運用方法の検討をしていく。

(議長) 先ほどの博物館事業報告の際も発言したが、来館者数を意識するあまり、施設の利用方法に制限がかかってはいけない。1 日中籠って誰に管理されることなく書籍や資料と向き合える空間が、図書館にはあってほしい。上限の時間を設定する際はこの視点も忘れないでいただきたい。

④ コミスタこうべ事業報告

(事務局) 別紙資料により、コミスタこうべ事業報告について説明。

(議長) コミスタこうべの位置付けについて改めて確認しておきたいが、所管が教育委員会にあったころは4、神戸の社会教育における中心的施設として、その運営や事業、企画について当会議で検討してきたのだが、それは今後も変わらないという認識で良いか。

(事務局) それで構わない。

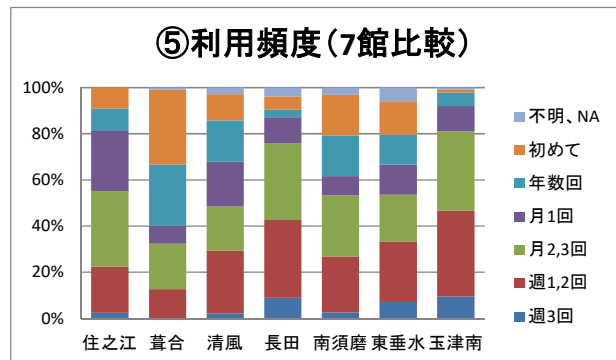
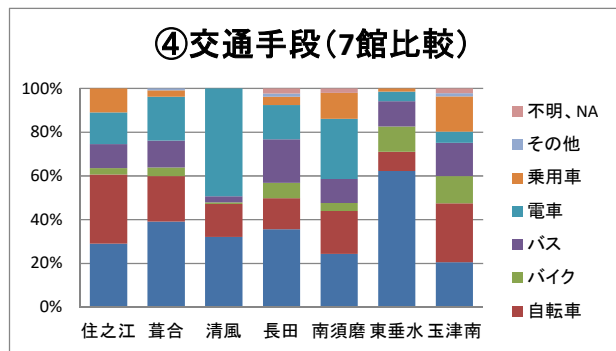
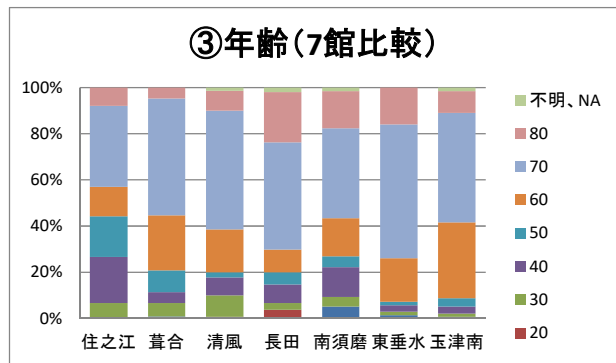
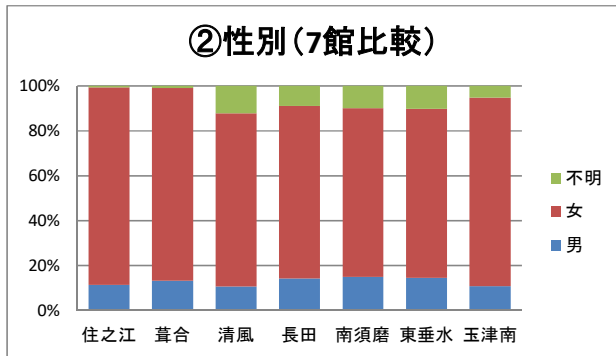
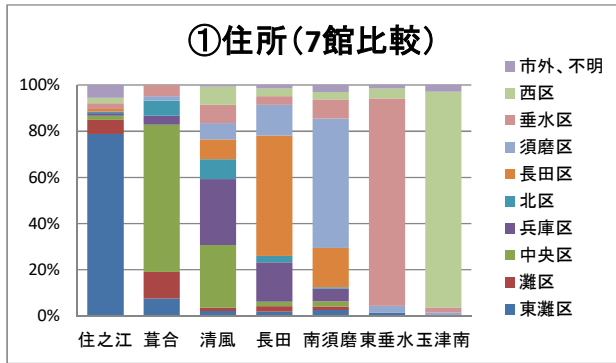
(議長) 他に質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

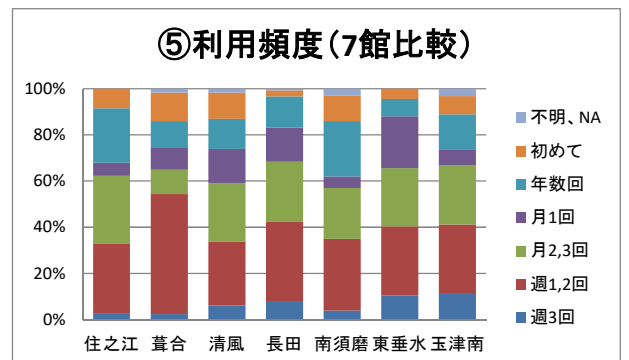
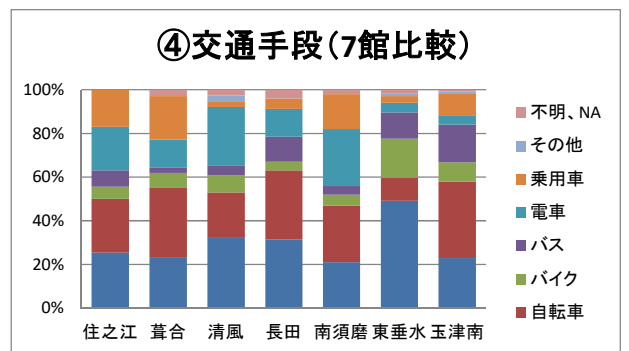
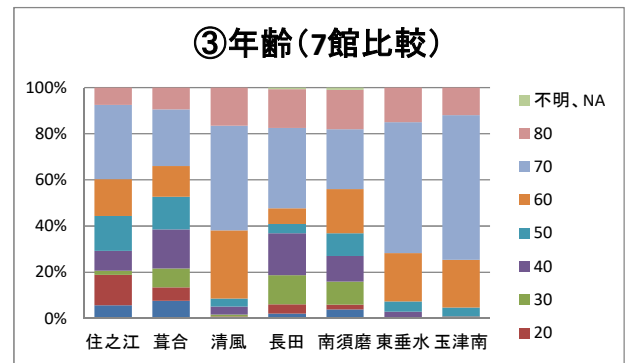
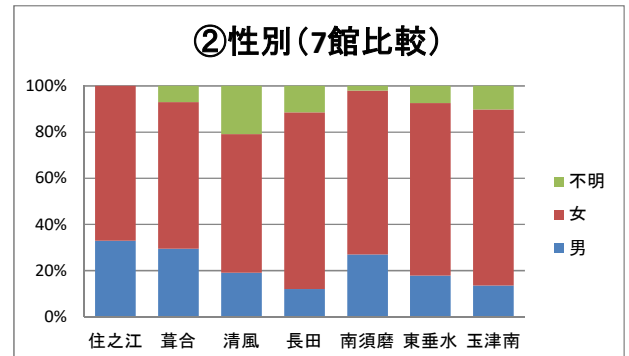
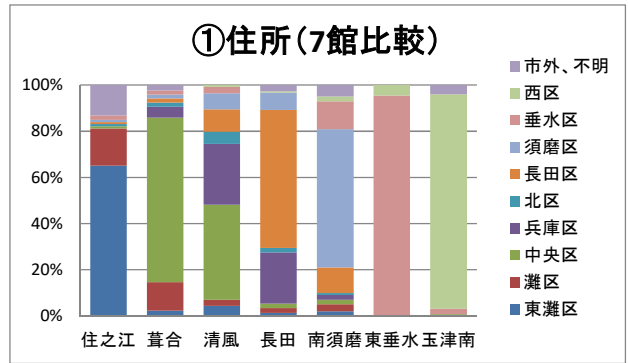
6. 閉 会 : 教育企画担当課長

【以上】

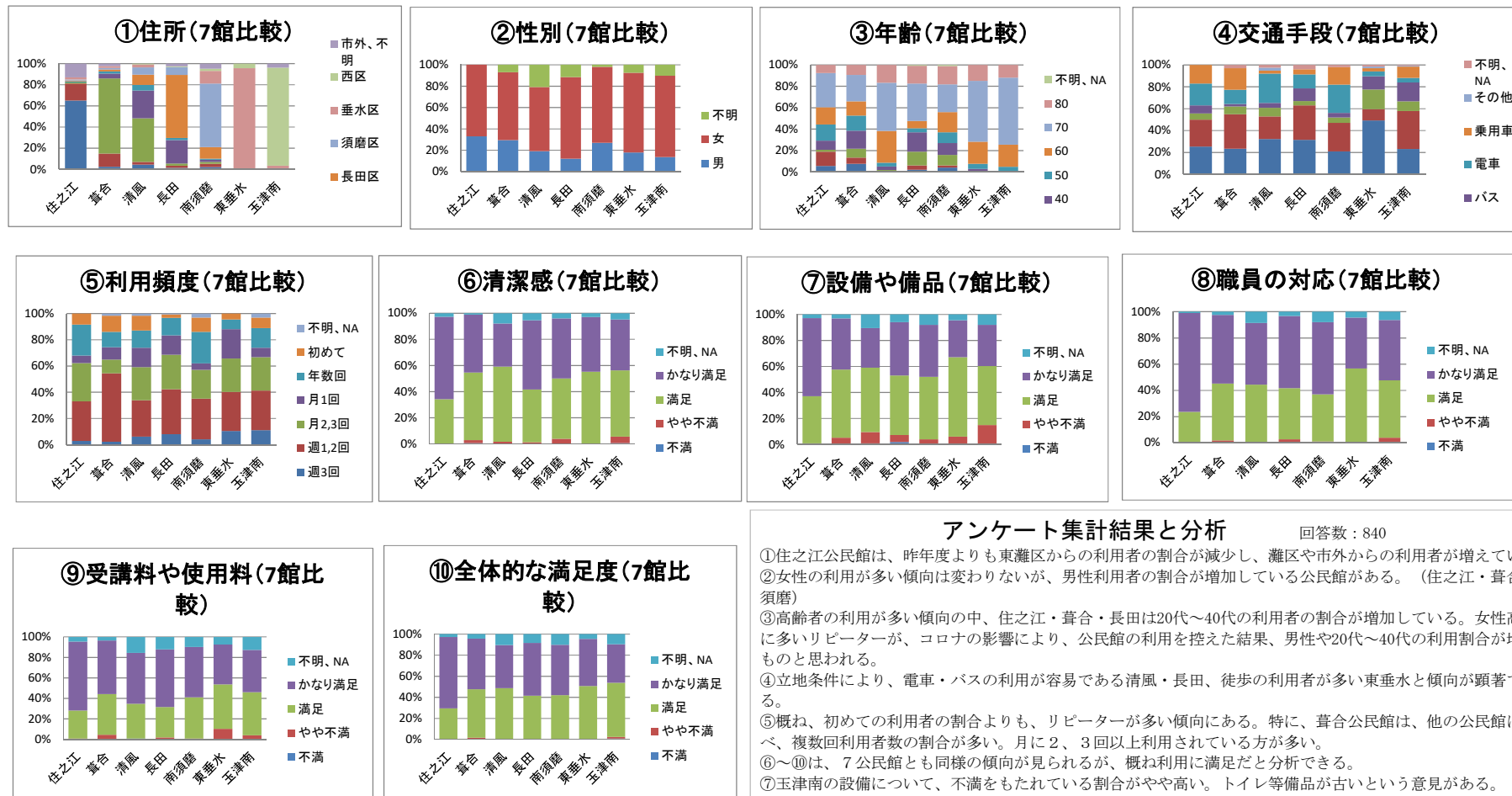
01年度



02年度



令和2年度 公民館アンケート集計結果①

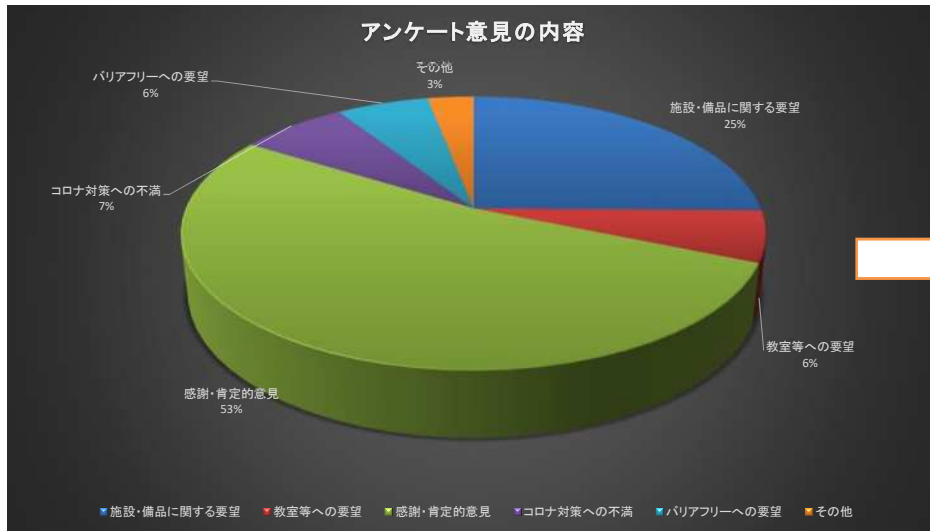


アンケート集計結果と分析

回答数：840

- ①住之江公民館は、昨年度よりも東灘区からの利用者の割合が減少し、灘区や市外からの利用者が増えている。
- ②女性の利用が多い傾向は変わらないが、男性利用者の割合が増加している公民館がある。(住之江・葦合・南須磨)
- ③高齢者の利用が多い傾向の中、住之江・葦合・長田は20代～40代の利用者の割合が増加している。女性高齢者に多いリピーターが、コロナの影響により、公民館の利用を控えた結果、男性や20代～40代の利用割合が増えたものと思われる。
- ④立地条件により、電車・バスの利用が容易である清風・長田、徒歩の利用者が多い東垂水と傾向が顕著である。
- ⑤概ね、初めての利用者の割合よりも、リピーターが多い傾向にある。特に、葦合公民館は、他の公民館に比べ、複数回利用者数の割合が多い。月に2、3回以上利用されている方が多い。
- ⑥～⑩は、7公民館とも同様の傾向が見られるが、概ね利用に満足だと分析できる。
- ⑦玉津南の設備について、不満をもたれている割合がやや高い。トイレ等備品が古いという意見がある。
- ⑧受講料等、⑨職員の対応を含め、⑩全体的な満足度は、およそ9割の利用者から満足を得ている。これまでの利用者とのつながりを大切にし、新規利用者層の獲得を目指したい。市民からのご意見については、公民館利用者へのお礼が多くを占めるが、中でもコロナ対策への感謝の声が多い。

令和2年度 公民館アンケート集計結果②



「アンケート意見の内容」について

○53%が肯定的な意見であり、週に複数回来館し学習をする利用者にとっては、公民館が一定の居場所を提供していると思われる。

○新型コロナウイルス感染症の影響により、各館消毒作業等対策に苦慮しているが、公民館のコロナ対策への感謝の声もあり、職員への労いの言葉も散見できる。

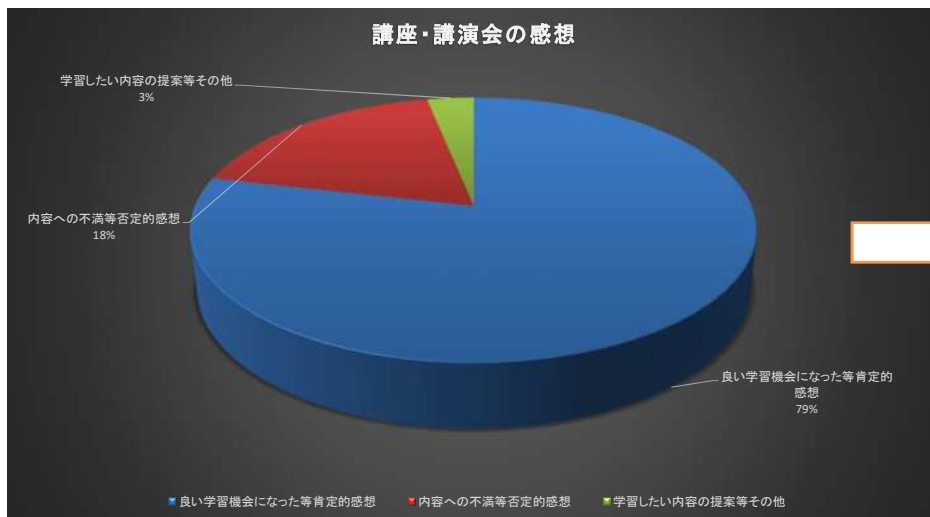
○図書コーナーの充実に力を入れた結果、「図書の充実に満足している」という意見も見られ（長田）、他館でも参考にしたい。

○教室等への要望も何点か見られ、講座数や教室数を増やしてほしいという前向きな意見をいただいている。今後講座等を企画する際に参考にする。

●施設・備品に対する要望が全体の25%を占めており、施設の老朽化に対策をしてほしい、あるいはスポーツ活動に使用する器具の買い替えを要望する声が多く、課題である。

●コロナ対策への不満が7%に上るが、対策上換気は徹底しなくてはならない。コロナ禍での生活への閉塞感を表す結果だと思われる。

●公民館のバリアフリー化を望む声が6%ある。障がい者の生涯学習を保障することも公民館の役割であり、現状バリアフリー化が実現できていない公民館にとっては、喫緊に検討する課題だと思われる。



「講座・講演会の感想」について

○講座やセミナーを受講して良かったという回答が多く、79%を占めているが、より高い満足度が得られるよう、講座・セミナーの内容は吟味して企画したい。各館で毎回開催している講座への感想が多く、学び続けたいと感じられる受講生がいることから、定例の講座・セミナーは今後も継続していくが、新たな利用者層獲得のための努力をするべきだと考えられる。

●講座・セミナーに参加して、満足が得られなかった利用者の割合は18%であり、決して低いとは言えない。感想を読み取っていくと、企画側の意図したことと、ニーズに隔たりがある講座・セミナーもあったようである。人権や国際理解といった現代的課題を扱うことは大切である一方で、公民館に様々な利用者層を呼び込むために、より平明な内容の講座・セミナーを企画することも必要であるというジレンマが、利用者から寄せられた感想から読み取れる。ただ、講座・セミナーで使用された映像資料や報告資料が分かりづらいといった技術的な問題も指摘されており、講座・セミナーの企画者と、講師との間での情報交換や打合せがより充実すれば、否定的な感想が少なくなった可能性も否定できず、今後の課題としたい。

○講座内容の提案も散見でき、今年度は、自然、植物、観光など屋外イベント、演奏会や音楽会といった内容を希望する声があったので、参考にしたい。

令和3年度 組織改正について

1. 重点項目

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の強化

- ワクチン接種や検査・相談体制をさらに強化するため、健康局及び各区保健センターを中心に保健師等を大幅に増員するとともに、感染拡大の状況に応じて全庁的な応援体制を強化し、安定的な執行体制を確立

(2) こども未来課の新設

- 貧困をはじめとする様々な困難を抱える子どもへの支援など、全ての子どもたちの未来を応援する施策の立案及び推進を目的として、こども家庭局にこども未来担当局長を配置するとともに、こども未来課を新設

(3) デジタル戦略部の新設

- 人口減少時代においても持続可能な行政サービスを提供する「スマート自治体」の実現に向け、デジタル技術を利用した業務プロセスの変革、生産性の最大化を進める『DX（デジタルトランスフォーメーション）』を強力に推進するため、企画調整局にDX担当局長（CDO（チーフデジタルオフィサー））を配置するとともに、情報化戦略部をデジタル戦略部として再編し、デジタル化専門官及び担当係長を増員

2. 教育委員会事務局の主な変更点（社会教育関係）

- (1) 公民館を教育委員会から市長部局である文化スポーツ局に移管
- (2) 婦人会館を教育委員会から市長部局である企画調整局に移管
- (3) 教育企画担当課長から政策調整担当課長に変更、本会議の担当は政策係

※ 文化スポーツ局所管の生涯学習支援センター（コミスタこうべ）の担当が文化交流課からスポーツ企画課に変更

こうべっ子読書活動推進プログラム

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、思考力や表現力を高め、創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上でとても大切なものです。本は私たちが様々な世界へ連れて行ってくれ、様々な人々と心を通わせる体験をさせてくれます。

また、インターネットやSNSなどが普及している現代の情報化社会においては、子どもたちが多様な情報通信手段の特徴を活かして読書に親しみ、必要な情報を的確に選択して活用できるようになることも期待されています。すべての子どもが魅力ある本にふれ、読みたい時に読みたい場所で自主的な読書活動ができるように、子どもの発達段階に応じた取組みにより、子どもの読書習慣を形成し、読書活動をめぐる諸条件を整備することを目的として、本プログラムを策定します。

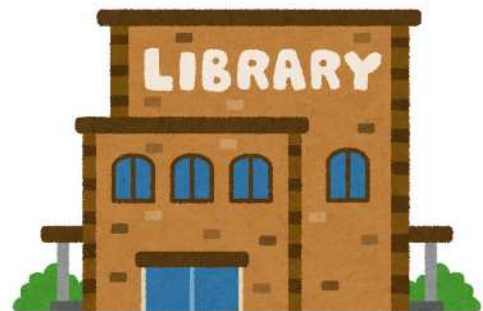
家庭・地域



学校園



図書館



神戸市

令和3年 月

1. 家庭における読書活動推進の取組

幼い頃から本に親しむことは、子どものことばや心の成長にとって大いなる栄養素になると言われています。家庭は基本的な生活の場であり、子どもが日常生活を過ごすなかで自然に本を親しむことができる環境をつくることが重要です。保護者が子どもの成長にあわせて絵本の読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりするためのきっかけとなるよう、子育て関係部局と図書館、学校園が連携し、さまざまな本の紹介や家族での読書活動の推進に取り組んでいきます。

◆ 読書へのきっかけづくり

○ 乳幼児期から絵本にふれあう機会づくり

- ・子育て支援センターと図書館の連携により保護者向け講座を充実
- ・読み聞かせボランティアと協働して乳幼児を対象としたおはなし会等を開催
- ・ホームページや子育て関連SNS等での情報発信



乳幼児と保護者向け絵本講座

○ 家庭での読書推進

- ・「家読（うちどく）」の推進 … 子どもを中心に家族で同じ本を読み、交流を深める
- ・家族での図書館利用の推進

2. 地域における読書活動推進の取組

子どもの読書活動を推進するためには、子どもの身近なところで本と親しむことができる環境をつくるのが重要です。このため、子どもが気軽に立ち寄り、本と出会う環境を地域に整備するとともに、とりわけ読書離れが危惧される中高校生を引き付ける行事やしかけ、情報発信を行うなど、読書活動の普及・啓発に努めます。

また、子どもの読書活動推進の大きな担い手である読書ボランティアの活動を支援し、連携した取組を行います。

◆ 地域における本に親しみやすい環境づくり

○ 児童館や公民館、家庭文庫等における、本に親しみやすい環境づくり

- ・おはなし会や読書につながるイベント開催

○ 青少年施設との連携

○ 市民図書室の利用促進

○ 読書ボランティアとの協働



ボランティアグループによるおはなし会

3. 学校園における読書活動推進の取組

学校、幼稚園や保育所（園）等は、子どもの主体的、意欲的な読書習慣を培う場として、重要な役割を担っています。このような場において、計画的、継続的に子どもの読書活動が推進されることは、子どもの読書に対する意欲の向上や読書習慣の確立、さらには言語能力の向上のためにとっても大切なことです。

学校園においては、幼稚園・保育所（園）の蔵書の充実や学校図書館の活性化等、子どもの読書環境の整備を行うとともに、本との出会いづくりや読書への意欲を高める取組を行います。また、保護者や地域と連携した読み聞かせの実施や学校図書館の活性化を図るとともに、情報発信を行います。幼稚園・保育所（園）においては、園児だけでなく地域の幼児や保護者に対する読書活動推進の取組を行います。

幼稚園・保育所（園）

◆ 絵本や物語との楽しい出会いづくり

- 園児への絵本の貸出や、親子絵本貸出の充実
- 日本語を第一言語としない子どもや、特別な支援を必要とする子どもへの読書活動推進
- 市立図書館との連携

小学校・中学校・高等学校等

学校においては、司書教諭や学校司書が中心となり、学校全体での読書活動の計画的な実施や、各教科等の授業における図書館の積極的な活用を進めるとともに、地域や家庭の協力を得ながら、子どもが学校でも家庭でも読書の時間を楽しみ、本にふれる機会を増やす取組を進めます。

◆ 読書の機会づくり、読書への意欲を高める取り組みの実施

- 発達段階に応じたイベントなど読書活動推進の取組内容の充実
 - ・ 朝の読書活動、ブックトーク、ビブリオバトル（書評合戦）、読書会などの実施
 - ・ 児童生徒の図書委員会活動等の活性化
 - ・ 読書に関する情報発信
- 学習指導要領を踏まえた読書活動、言語環境の整備充実
 - ・ 司書教諭、学校司書が連携して学校図書館を計画的に活用した読書指導、学習指導を推進



委員章でやる気アップ

◆ 学校図書館の機能強化

- 学校司書配置を進め、学校図書館の機能を強化
- 図書資料の充実、図書以外の多様な資料の提供
 - ・ 新聞、雑誌、パンフレット、視聴覚資料等の提供、及びデジタルコンテンツの紹介
 - ・ 電子書籍の利用



整備された学校図書館

- 組織的計画的な学校図書館の活用の推進
 - ・ 年間活用計画の策定
 - ・ 統計による学校図書館の評価
- 教育の ICT 化への対応、情報センター機能の強化
 - ・ 図書館管理システムの導入の検討
 - ・ 図書館の ICT 環境整備、情報機器の整備
- 学校図書館に関わる研修の充実
 - ・ 司書教諭・学校図書館担当教員研修、学校司書研修等



活用促進のための計画作成



学校司書研修の様子

◆ 保護者・地域・他機関等との連携、情報発信

- 市立図書館との連携
- 保護者・地域への情報発信、啓発
- ボランティアとの協働



特別な配慮を必要とする児童生徒への取組

「視覚障害者等の読書活動の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」の理念にのっとり、障害の種類、程度にかかわらず等しく読書の機会が保障されることをめざします。また、日本語を第一言語としない児童生徒が豊かな読書活動が行えるよう環境整備と支援に努めます。

◆ 学校図書館を通じて、一人一人のニーズに応じた読書環境の提供

- 学校図書館の整備
 - ・ 利用案内や配架、サイン、資料提供方法等の工夫
- アクセシブルな書籍や電子書籍等のニーズに応じた資料の提供
- 日本語を第一言語としない児童生徒や異なる文化を背景に持つ児童生徒への資料提供
- 読書支援機器の提供や利用支援
- 点字図書館、市立図書館等との連携
- ボランティアとの協働



資料提供の工夫

手作りのリーディングトラッカー
(読書支援)

4. 市立図書館における読書活動推進の取組

子どもの読書活動推進の中核を担う図書館には、子どもたちが読みたい本や知りたい情報が十分にあることが重要です。そのため、図書資料の充実を図るとともに、子どもたちの読書スペースを充実し、読書環境を整備します。また、司書の資質向上に取組み、おはなし会などの行事や本に関わるイベント実施により、読書のきっかけづくりを行い、本や情報の探し方について発信し、子どもたちの情報活用を支援します。

また学校園、他機関、地域と連携し、館外へ出向いての取組や子どもの読書を支える大人への働きかけを行います。

◆ 生涯にわたって読書を楽しむ習慣を育てるための読書環境の整備

○ 児童書の充実

- ・子どもの興味・関心を広げる図書、学習に対応した幅広い図書の収集
- ・長く読み継がれ定評のある図書の提供

○ 乳幼児と保護者向けサービス（再掲）

○ 館内外での子どもと本をつなぐイベント実施、情報発信

- ・定例おはなし会、こどもの読書週間行事等の開催
- ・図書紹介リーフレット「としょ☆ぴか」（月刊）およびブックリストの発行

○ 小・中学生への調べ学習支援

- ・情報の探し方講座やイベントの実施、調べ方ガイドの作成

○ YAコーナーの充実を中心とした青少年層への読書推進

- ・10代の子どもたちを対象にした図書の充実や、テーマ展示の実施
- ・中高生同士が本を通して交流できるイベントの開催
- ・ホームページやSNS上での情報発信

◆ 学校園との連携

○ 授業支援のための資料提供

- ・総合学習用図書セットの貸出
- ・「テーマ本集め」による団体貸出（学習に関連する個別テーマでの図書提供）

○ 幼稚園への絵本セット巡回貸出

○ 教育委員会との連携による学校図書館運営の支援

- ・司書教諭および学校司書に対する研修、情報提供

○ 学校園へのお出前授業（ブックトーク、調べ学習講座等）

◆ 子どもの読書活動に関わるボランティア等との連携および支援

○ ボランティア活動に役立つ読み聞かせ講座等の実施、新刊本の情報提供

○ ボランティア交流会の開催

○ ボランティア団体との連携企画実施



ブックリスト「えほんの小箱」



図書館バックヤードツアー



調べ学習応援講座



ボランティアへの近刊紹介

◆ 特別な配慮が必要な子供たちへの支援

- 日本語を第一言語としない子ども、特別な支援を必要とする子どもに向けた図書の充実
 - ・大活字本やLLブック等アクセシブルな資料の収集・提供
 - ・ユニバーサル図書コーナーの設置
 - ・多言語による利用案内リーフレット作成
 - ・点字図書館との連携



「ブックトーク」自主研修会

◆ 児童サービス担当者の人材育成

- 自主研修会の実施、館外研修会等への参加

◆ ICT社会における子どもたちの読書、情報活用の支援

- 「神戸市電子図書館」（令和3年1月稼働）の充実と活用
- 紙の本とデジタル情報の相互利用による読書推進

5. こども本の森 神戸

「こども本の森 神戸」（令和4年春開館予定）は、寄付をされる建築家の安藤忠雄氏の思いを受け、「こどもたちに対して、良質で多様な図書または芸術文化及び歴史に触れあえる環境を提供する施設」として整備を進めるとともに、近隣施設、地域団体、企業、その他各種団体等との連携を図り、様々な企画などにより、本に触れあえる機会の創出に取り組んでいきます。



令和2年度神戸市立図書館事業実績(～2月・抜粋)

令和3年3月

※「印」印＝「コロナ時代に開催するための工夫」

1 資料の充実	
取組事例	<ul style="list-style-type: none"> 電子書籍の充実 <ul style="list-style-type: none"> 印 令和3年1月5日の本格実施 → 図書館_資料2 オンラインデータベースの追加(名谷) <ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月24日の開館に向け準備中 ユニバーサルデザインに配慮した大きな活字の資料の収集継続
2 学習機会の提供(児童向けは、4 子供サービスの項へ)	
取組事例	<p>講座、講演会、展示、その他イベントの実施</p> <p>「古文書をよむ『神戸村文書』から見える人々の暮らし展」(中央)11月 「雑誌リサイクルフェア」(中央・東灘・北・新長田)10月～11月 印 整理券配布・入場制限・会場の変更・密集を避けるように雑誌を配置</p> <p>「工作教室『豆本をつくろう』」(垂水)10/25 「みんなでつくろう!西図書館カルタ」(西)10/27～11/8 「西区」「図書館」「本」にまつわる読み札と取り札を募集し、西図書館カルタを作成。 「大人の工作教室『ハレの日を飾る水引』」(東灘)11/1 水引細工の入門編で、あわじ結びとのおし袋の飾りを作成。 印 スタッフはマスクとフェイスガード、手袋を着用、参加者には手指の除菌をお願いし、長机に1人ずつ座って頂いた。開場前に道具を除菌した。</p> <p>「大人のためのストーリーテリング」(北神)11/4 印 会場をより広く換気可能な場所へ変更し、定員を半分に減らし実施した。</p> <p>「本の福袋」(北)10/27～11/29、(須磨)11/1～11/12、(灘)12/15～20、(垂水)1/5～1/10 「修理本教室」「修理本ボランティア研修」(灘)12月 「新長田図書館開館25周年記念講演会:世界を書くための装置 ノンフィクションの文体について(講師:西中賢治氏)」(新長田)12/5 「ワークショップ:100文字小説 マイクロノベルを書いてみよう!(講師:北野勇作氏)</p>
3 関係機関との協働	
取組事例	<p>(1) 行政機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉局、健康局 <ul style="list-style-type: none"> 「自殺対策強化月間関連展示」(全館)3月 須磨区役所・須磨区社会福祉協議会等 <ul style="list-style-type: none"> 「輝け★須磨オヤジ塾:一箱図書館展示」(須磨)10月、12月 文化財課、埋蔵文化財センター <ul style="list-style-type: none"> 「古文書をよむ『神戸村文書』から見える人々の暮らし展」(中央)11月(再掲) <p>(2) 大学・企業・地域団体・NPO等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 「連携展示:神戸外大教師が新生にすすめる本」(中央)10/1～10/31 神戸市外国語大学『神戸外大教師が新生にすすめる本』(神戸市外国語大学編)をもとに紹介本を展示 大学が実施する地域貢献事業への支援:神戸常盤大学・神戸コア教育文化センター主催「多文化こどもカフェ」(新長田)10/17

多文化交流を目的とし、ホットック作り・世界の遊び・読み聞かせを実施。図書館は読み聞かせとブックリスト配布で参加。

- ・ビジネス支援講座「創業時に最も苦労したことは？」（中央）2/26
日本政策金融公庫との共催
- ・企画展示「長田区 今月の主人公」（新長田）
地元で活躍する著名人（児童館館長、神戸映画資料館館長、長田区長など）のお薦め本の展示、ブックリスト配布、選者のプロフィールも展示

4 子供サービスの充実

取組事例

「密」を避ける工夫をしつつ、館内外での子供と本をつなぐイベントを実施

◇図書館内

- 「分類ビンゴ」（中央）10/16～11/25
ビンゴのマスに書かれた分類の本を読むイベント。
☞集わなくても、本を借りれば参加できるよう企画した。
- 「みる・きく・さわる～”りか本”のよみきかせワークショップ～出張版」（三宮）10/31
テーマ：かたち バンドー科学館から講師を招いての実験・工作。図書館職員によるりか本（子供向けの理科の本）の読み聞かせ
☞距離の確保が難しかったため、今年は実験の実演を見てもらう形で実施。代わりにお土産（いろいろな形のビーズを取り換えて楽しめる万華鏡）をお渡しする。参加者同士が向き合わないよう座席を配置した。
- 「としょこちゃんからのちょうせん状」（兵庫）10/13～11/15
クイズを解いていくことで、点字絵本、自動貸出機、パスファインダー等々、図書館のことがわかるクイズラリー
- 「注文の多い料理店 すまとしょかん支店からの脱出」（須磨）10/13～11/8
館内に隠されたクイズを探し、問題を解く。自由参加式で、1周クリアすると裏クイズラリーに参加することが出来るという遊びの要素を取り入れた。



- ☞参加者が密にならないような動線を。カウンターでの対応が最低限になるよう工夫。答え合わせの簡略化、モチーフの衝立越しに参加者と接する等の配慮を行った。

◇図書館外

- 「こどもわくわく食堂での読み聞かせ」（兵庫）毎月第4土曜日 於：兵庫区聖家族児童館（カトリックキリスト教会敷地内）
☞継続事業であるが、今年は絵本の展示（閲覧）を中心に実施。読み聞かせの要望がある場合は、屋外で人数制限（入替制）、マスク着用、距離を保った上で実施。
- 「垂水の浜の生き物博士になろう」（垂水）10/17
マリニピア神戸さかなの学校・栽培漁業センター連携
☞例年は夏に開催。今年は定員を削減し、受付方法を抽選に変更。生き物とのふれ合いは中止したが、少人数での開催で講師への質問がしやすく盛り上がった。
- 「プログラミング体験講座 ロボット『こくり』は動くかな？」（東灘）10/31

「パスファインダー改訂 『芸術』」(兵庫・北・北神)
 「あなたのアマビエコンテスト」(須磨) 9/15～11/8 YA かわら版でアマビエイラスト募集
 「『新長田図書館だより』のリニューアル」(新長田) 10月～
 YA 世代以上を対象とし、“図書館を身近に感じられる、そしてちょっと得した気がする”
 をコンセプトにリニューアル。
 「展示『ほんのわ』で紹介した本、集めました。」(北) 10/27～11/29
 YA 向け図書館だよりが 50 号の節目を迎えた読書週間行事として、各号に掲載の紹介文と
 ともに本を展示

・その他

「『ソーシャルディスタンス号』貸出」(新長田) 10月～

☞ 小学校低学年くらいまでの子ども 1 人が入れる
 大きさの、たこやペンギンを模った段ボール箱
 を館内で読書をする際に随時貸出。側面の腕の
 ような部分を広げると横との距離が分かり、自
 然と適切な距離をとることができるというもの。



(2) 学校園との連携

- ・団体貸出による資料提供
- ・幼稚園巡回図書の実施
 市立幼稚園 30 園 私立幼稚園 15 園 年 2 回の巡回 (例年は 3 回)
- ・高校出前授業
 北須磨高校 (中央)、夢野台高校 (兵庫)、伊川谷北高校 (西)
- ・小学校からの見学受入
 8 月から受入再開。密集を避けるため 1 クラスごとに分散して受入
- ・その他

「出前授業 (図書館見学の代替)」(西) 10 月

☞ 館内の混雑を避けるため、今年度は出前授業の形での実施を小学校へ提案。写真を多用
 し館内を実体験できるようなスライドを作成

「兵庫図書館×兵庫中学ライブラリーPOP コンテスト」11/17～12/13

(3) 子供の読書活動推進に関わるボランティア等との連携や支援

- ・ボランティア交流会の開催
 第 1 回「ボランティアスキルアップ講座」として「ボランティア交流会」を開催 (中央)
 12/11
- ・読み聞かせ等、活動に役立つ講座の開催や新刊本等の情報提供
 第 2 回「ボランティアスキルアップ講座」として「2020 年のこどもの本 紹介と展示」開催
 (中央) 2/25

電子図書館をご利用ください

電子図書館は
こんなに便利！

神戸市立図書館の図書館カードをお持ちの方は、お申し込み不要です！

図書館カード^{*}1枚につき、IDと初期パスワードを付与しました

*個人用カードのみ。
団体貸出用カードは含みません。

日本語の読み上げができます！

本文の読み上げ音声を聞くことができます

**コンテンツによっては、読み上げられないものがあります。

資料の検索は簡単！

資料のタイトルや著者名を、ヨミでも検索できます

目が不自由な方も使いやすい！

視覚障害者向け利用支援サイトでは、音声読み上げソフトを利用することで、視覚に頼らず検索・貸出・閲覧ができます

24時間

いつでも借りることができます

どこでも

スマートフォン・タブレットでどこからでも利用

返し忘れなし

貸出期限終了後は自動的に返却されます

手間いらず

Webブラウザで読めるので、アプリやプラグインのインストールは不要

<https://www.city.kobe.lg.jp/a09222/kosodate/lifelong/toshokan/denshi/index.html>

神戸市電子図書館 検索

ご利用はこちらからアクセスしてください



神戸市立中央図書館 TEL: 078-371-3351 FAX: 078-371-5046

ログイン

利用者ID

パスワード

ログインする

【ログインはこちらから】

利用者 ID は 図書館カード番号*

初期パスワードは 西暦生誕年+図書館カード番号の下4桁**

*カードの有効期限をご確認ください **K-lib ネットのパスワードとは異なります

例) 図書館カード番号が P012345678, 1980 年生まれの方の場合

利用者 I D : P012345678 (P は半角大文字で入力)

初期パスワード : 19805678 (数字は半角で入力)

新規でカードを作られた方は、カード発行日の翌日正午以降に、ログインできるようになります

一度に借りられる本は **2点**まで
 貸出期間は **2週間**です
 予約が付いていない場合、1点につき1回2週間の延長ができます

予約は **1点**のみできます

※青空文庫 (主に著作権が切れた文学作品) は除きます。

電子図書館の利用は無料です
 通信料は利用者の負担となります

初期パスワードを、はじめてログインした際に、ご自身の好きなパスワードに変更してください

パスワードを忘れてしまった場合は、ご本人が図書館にご連絡ください (仮パスワードを発行します)

- ・Eメール (図書館からの返信には数日間かかります)
 kobecity-denshi@office.city.kobe.lg.jp

件名を「パスワード再発行」とし、本文に
 図書館カード番号・名前 (フルネーム)・生年月日を明記してください。

- ・電話 (各区の図書館に開館時間中にお電話ください)
- ・各区の図書館窓口 (開館時間中にご本人がお越しください。図書館カードが必要です。)

----- ご注意ください -----

借りている資料の一覧を見る

予約している資料の一覧を見る

予約した資料の順番が回ってきた際の連絡メールはありません
 資料が借りられるようになってから、7日間の間に貸出手続きをしてください
 (気づかずに借りられなかった場合は、次の順番の人に回り予約は消えます)

借り

予約している資料

取置中 取置期限: 2021年1月13日

名言でたどる世界の歴史 電子書籍版

島崎 晋 著

予約日: 2021年1月6日

予約順位: 1人目/1人中

P012345678さん

ログアウト

借りている資料	0/2 点 >
予約している資料	1/1 点 >

ご予約中の資料が1点ご利用できました。

ログイン後の
トップ画面からも
確認できます

予約をされた場合は、1週間に1度は電子図書館のページをご覧ください